

# 2025年度都内キャッシュレス決済比率に関する 調査結果

調査結果概要	P2
都内のキャッシュレス推進について	P4
第1部 キャッシュレス決済比率	P7
第2部 補足（キャッシュレスに関する意識調査の結果）	P18

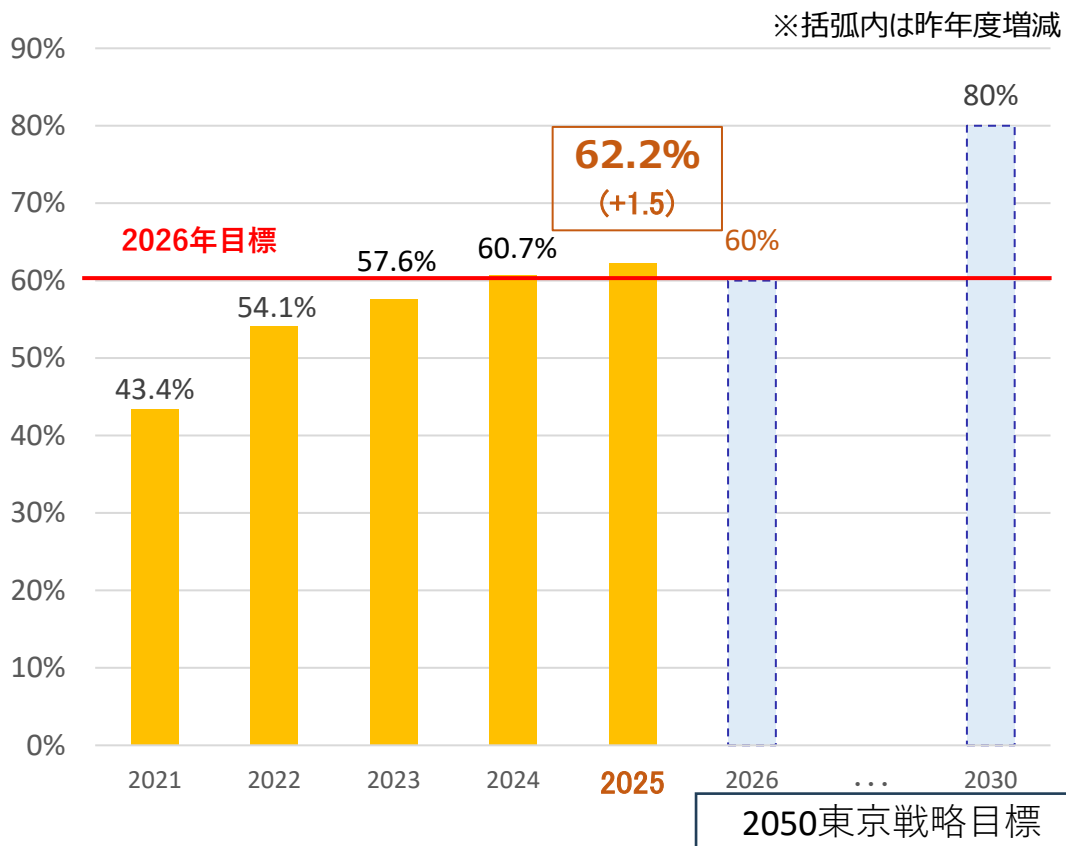
# 調查結果概要

---

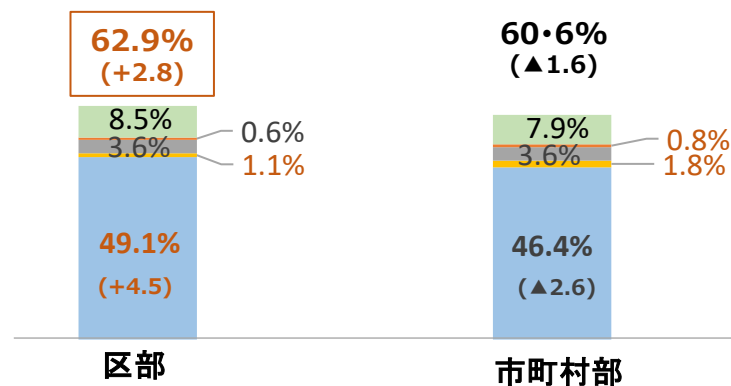
# 2025年度の調査結果（概要）

- 都内キャッシュレス決済比率は金額ベースで**62.2%**（前年比+1.5%）となり2026年目標を前倒して達成
- エリア別では、**区部**ではキャッシュレス決済比率が**上昇**したが、**市町村部**ではキャッシュレス比率が**低下**
- 年代別に見ると、**30代**のキャッシュレス比率が**最も高く**、伸びは**40代**が**最も大きい**

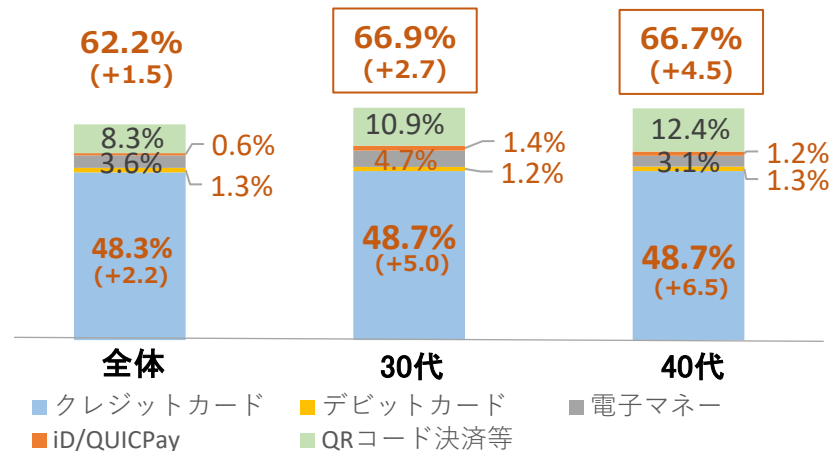
## 都内キャッシュレス決済比率（金額ベース）



## エリア別



## 年代別



出所：都内のキャッシュレス決済比率の調査結果（東京都実施）  
 （調査方法：2021 訪問留置調査 2022～2025 ネットアンケート調査）

# 都内のキャッシュレス推進について

---

# (参考) 2025年度 都内キャッシュレス決済比率 調査方法

- 都民に対して一定期間の支払明細(金額、方法等)に関するアンケート調査実施
- 支払明細を基に、都内のキャッシュレス決済比率を算出

## キャッシュレス決済比率算出フロー

### 日常的支払、定期的支払、各々の キャッシュレス決済比率算出

- 3,017名に対して、日常的支払※1と定期的支払※2を回答してもらうネットアンケート調査を実施
- キャッシュレスに関する考え方等に関するアンケートも同時に実施  
(実施期間：2025年11月5日～19日)

※1 回答者自身が2週間に行った個々の支払  
(例：店舗やオンラインショップでの支払い)

※2 世帯が1か月間に行った支払のうち、  
定期的に支払が発生するもの  
(例：光熱費、住宅費、保険料)

### 支払全体に占める日常的支払、 定期的支払の構成比率を設定

- 日常的な支払（A）が個人ベース、定期的な支払（B）が世帯ベースのため、単純に合算して都の支払全体のキャッシュレス決済比率を算出できず
- そこで、外部統計からAとBの比率を取得し、加重平均で推計
- 全国家計構造調査（2019年）の東京都データに基づき、A : B = 63 : 37に設定

### 左記構成比率で加重平均し 都内キャッシュレス決済比率を推計

- A : B = 63 : 37で加重平均し、都内の支払全体のキャッシュレス決済比率を推計

### 調査件数

回答者数(単位:人)	3,017
明細件数(単位:件)	41,200

(参考:2024年度)

回答者数(単位:人)	4,570
明細件数(単位:件)	68,001

# 都内のキャッシュレス推進について

- キャッシュレス化は、都民の生活利便性や事業者の生産性向上等に寄与
- 都では、都内のキャッシュレス決済比率を「2050東京戦略」や「『国際金融都市・東京』構想2.0」においてK P Iを設定し、独自に都内のキャッシュレス決済比率の調査を実施するとともに、全庁的な取組を推進中

## 目標（金額ベース）

### 東京都の目標（都内キャッシュレス決済比率）

2025年目標	2026年目標	2030年目標
50% <b>済</b>	60% <b>済</b>	80%

### 国の目標※

2030年目標	将来目標
65%	80%

※参考：キャッシュレス推進検討会とりまとめ  
(2025年12月経済産業省)

## 東京都のキャッシュレス推進に寄与する取組

### ■ キャッシュレス納税の推進

納税者へのQ O Sの向上のために、口座振替やスマホ決済アプリ等、キャッシュレス納税の利便性を訴求する広報の実施

### ■ 金融リテラシー向上支援事業

個人向けの金融セミナー等でキャッシュレス活用のメリットや留意点を紹介する等、安定的な資産形成を支援

### ■ 都民利用施設のキャッシュレス化

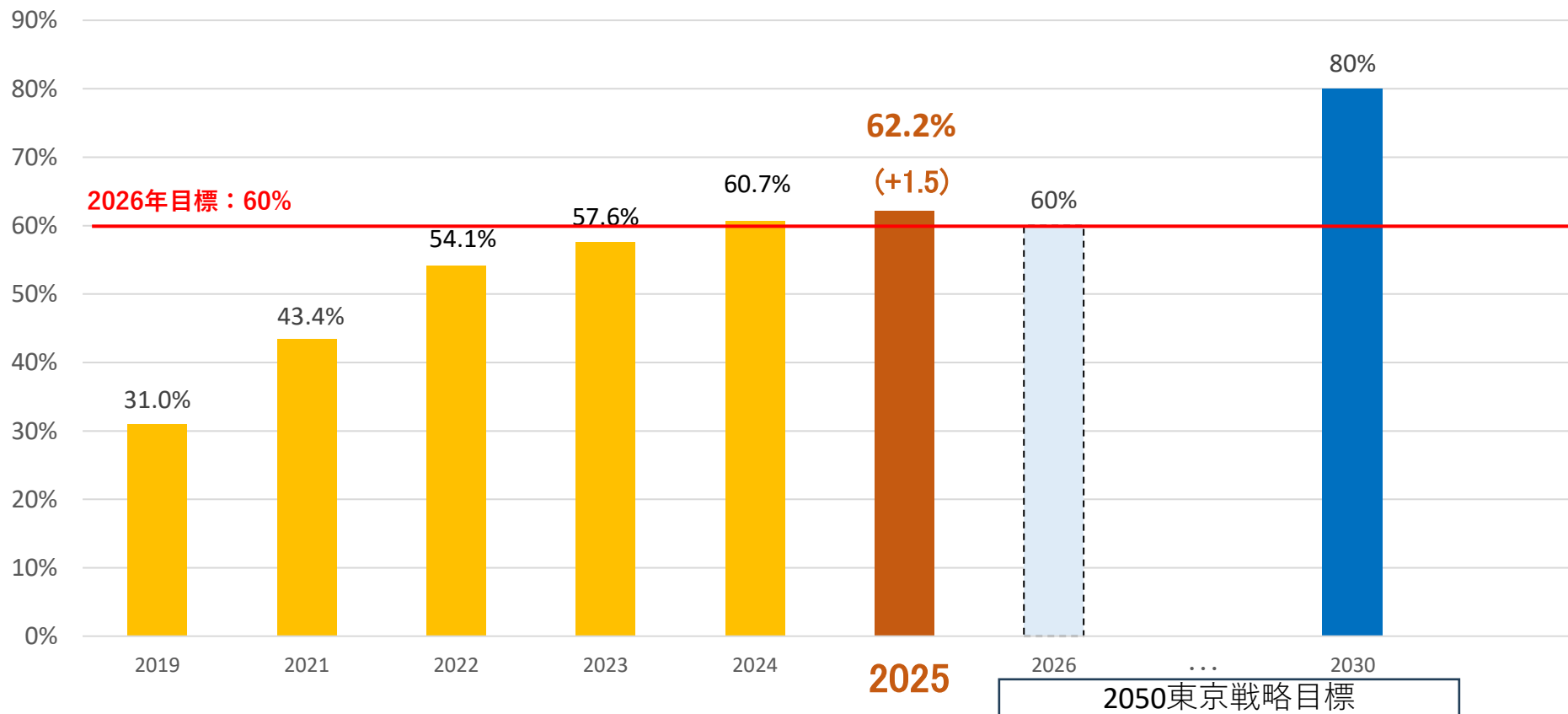
入場料等を徴取する全ての都民利用施設（78施設）のキャッシュレス化

# 1. キャッシュレス決済比率

---

# 都内キャッシュレス決済比率の推移(金額ベース)

- 2025年度の都内におけるキャッシュレス決済比率は**62.2%**（前年比**+1.5%**）となり、引き続き堅調に上昇



※2021年以前の実績値は、今回とは異なる方法で算出されていることに留意が必要

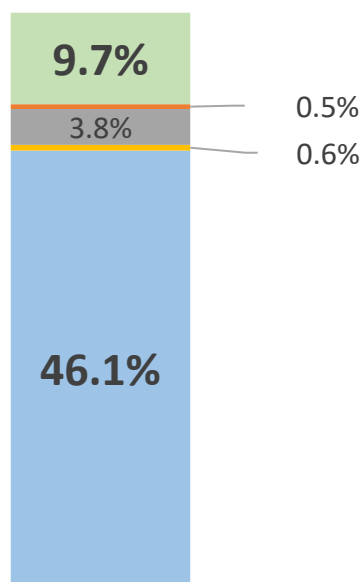
- 出所 2014年実績：経済産業省「平成26年度商業統計 第2巻第5表」 調査方法：①調査員調査方式、②本社等一括調査方式  
2019年実績：総務省「家計構造調査」 調査方法：①インターネット回答、②調査員に提出、③郵送により提出（都道府県調査は②のみ）  
2021年実績：「都内のキャッシュレス推進に関する調査分析」 調査方法：訪問留置調査  
2022年実績：「都内のキャッシュレス決済比率の算出及びキャッシュレス推進に関する調査分析」 調査方法：ネットアンケート調査  
2023年～2025年実績：「都内のキャッシュレス決済比率の算出等に関する調査分析」 調査方法：ネットアンケート調査

# 調査結果：都内キャッシュレス決済比率

- 都内のキャッシュレス決済比率は、金額ベースで**62.2%**、件数ベースで**66.5%**
- 前年度比で、金額ベースでは引き続き**微増**したが、件数ベースでは**微減**
- 決済手段としては金額、件数ともに**クレジットカード**が微増した一方、**QRコード**は微減

## 金額ベース

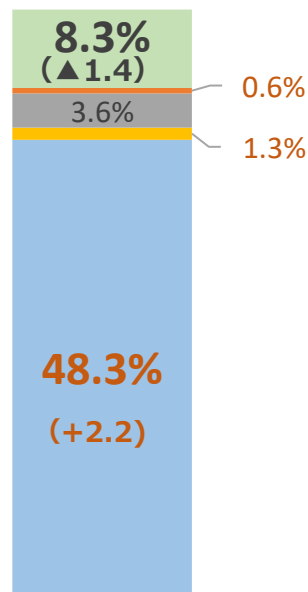
60.7%



2024 (金額)

■ クレジットカード

**62.2%**  
(+1.5)

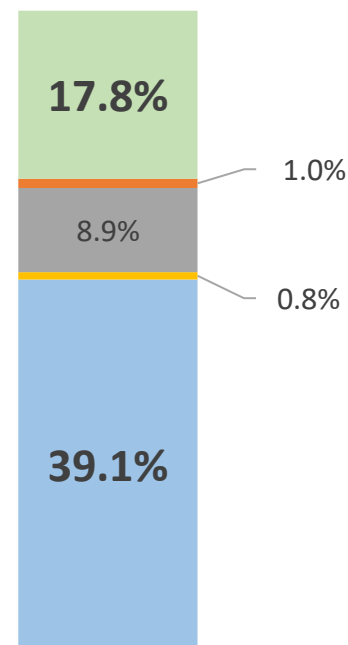


2025 (金額)

■ デビットカード

## 件数ベース

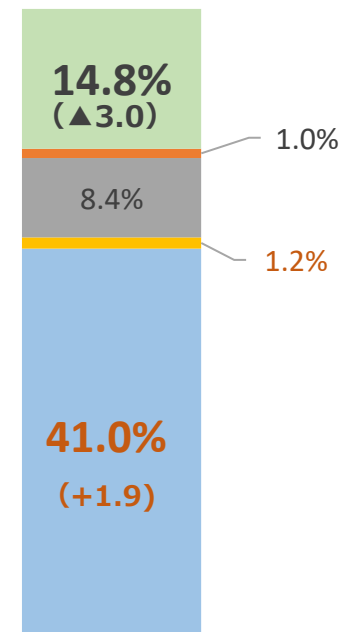
67.6%



2024 (件数)

■ 電子マネー

**66.5%**  
(▲1.1)



2025 (件数)

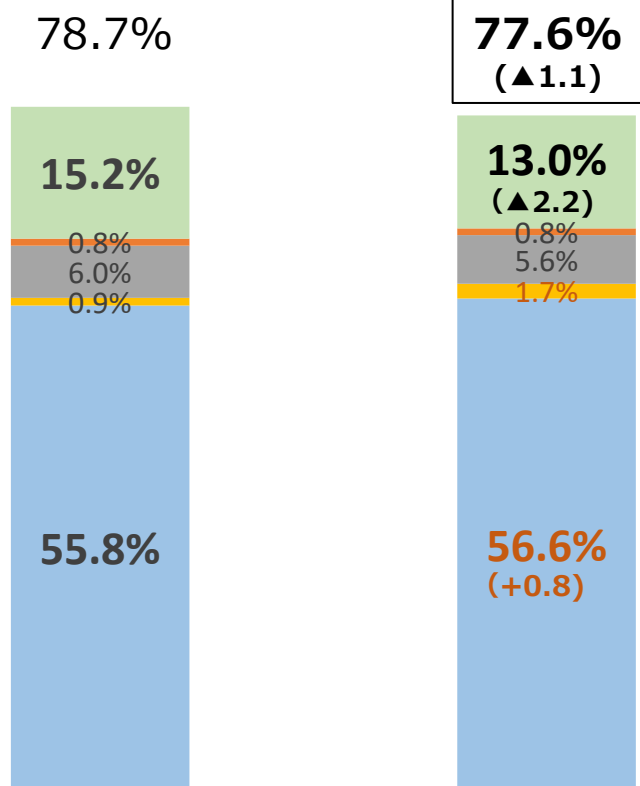
■ iD/QUICPay

■ QRコード

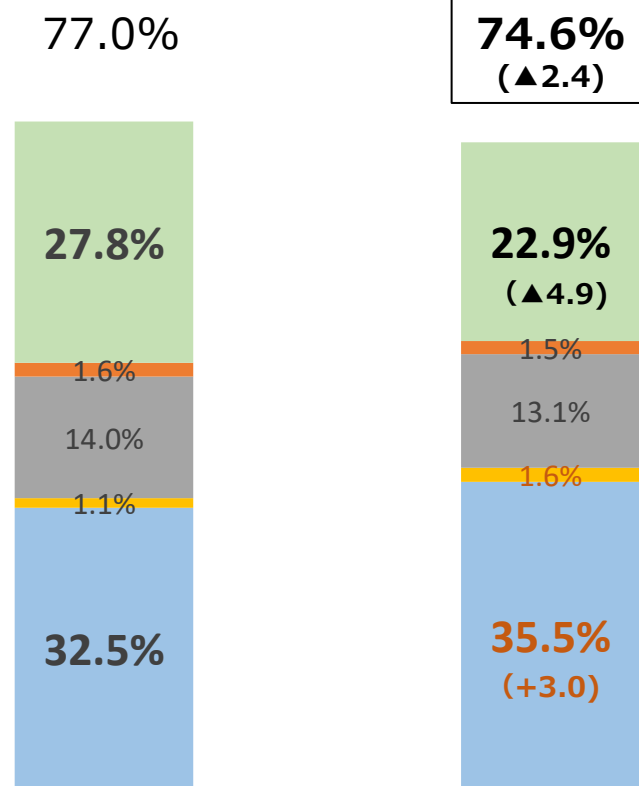
# 結果詳細① 日常的な支払におけるキャッシュレス決済手段の内訳

- 日常的な支払では、**77.6%**(金額ベース)、**74.6%**(件数ベース)がキャッシュレス決済
- 日常的な支払は、金額、件数ともに**前年度からキャッシュレス比率が微減**
- 決済手段としては金額、件数ともに**クレジットカード**が微増した一方、**QRコード**は微減

## 金額ベース



## 件数ベース



2024

2025

2024

2025

■ クレジットカード

■ デビットカード

■ 電子マネー

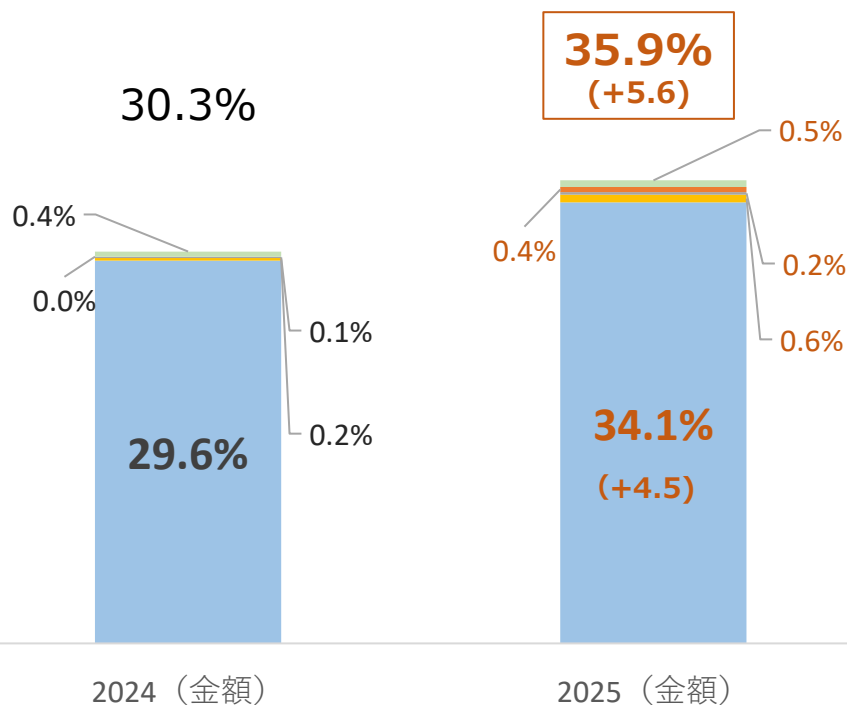
■ iD/QUICPay

■ QRコード

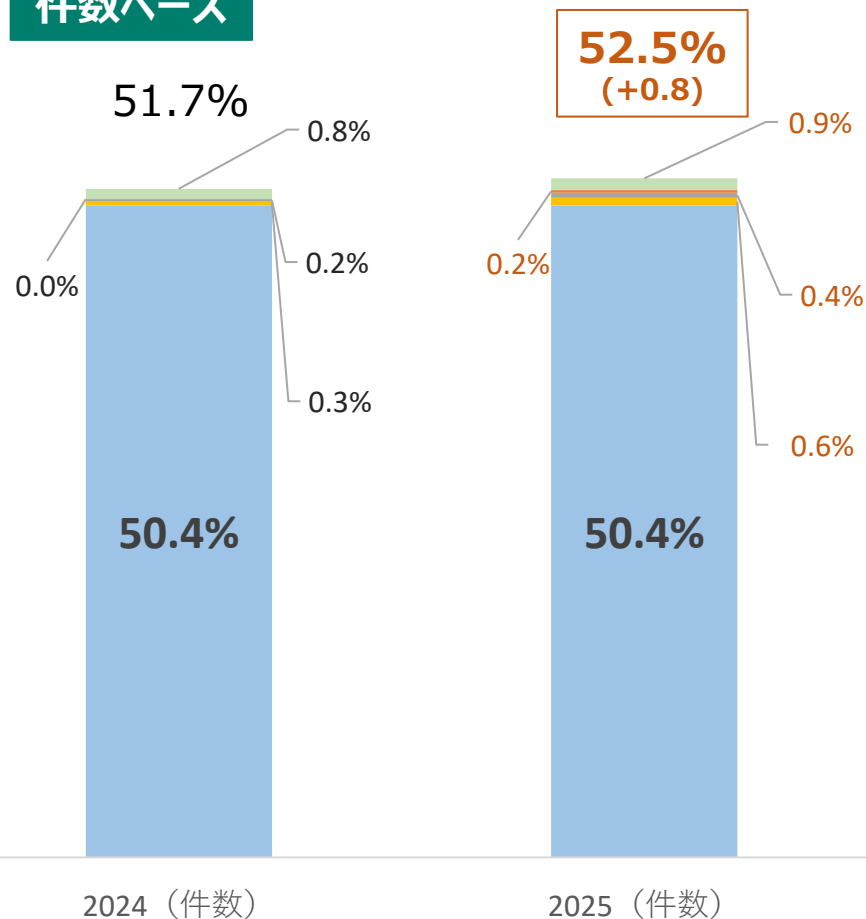
## 結果詳細② 定期的な支払におけるキャッシュレス決済手段の内訳

- 定期的な支払では、**35.9%**(金額ベース)、**52.5%**(件数ベース) がキャッシュレス決済
- 定期的な支払は、金額、件数ともに**前年度からキャッシュレス比率が上昇**
- 決済手段としては、前年度から大きな変化はないが、金額、件数ともにほぼ**クレジットカード**が占める  
(銀行振込や口座振替はキャッシュレス決済に含まれていない点に留意)

### 金額ベース



### 件数ベース

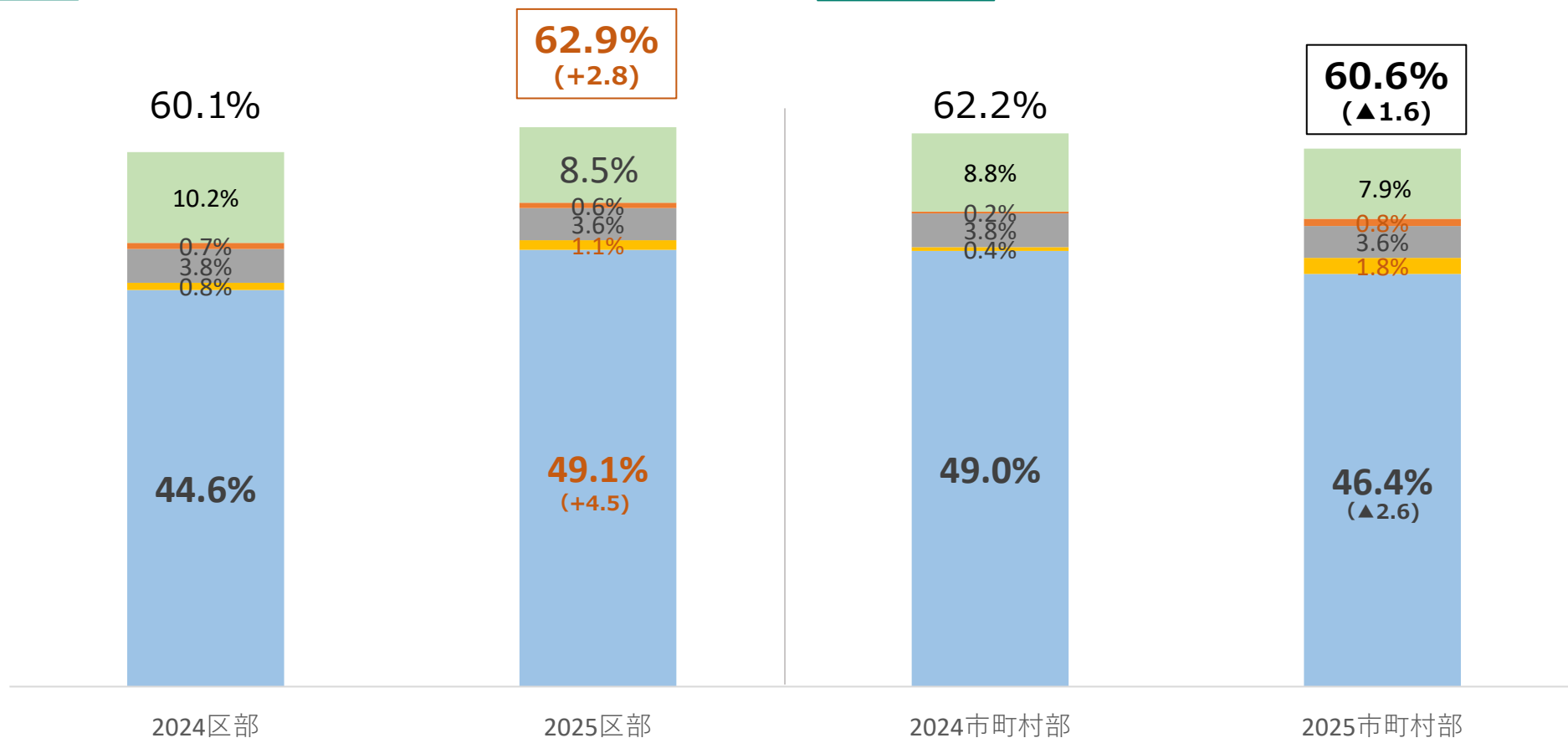


# 結果詳細③ 地域別のキャッシュレス決済比率(金額)と決済手段の内訳

- 金額ベースでは、区部**62.9%**、市町村部**60.6%**がキャッシュレス決済
- 前年度と比べて、区部では**キャッシュレス決済比率が上昇**した一方、市町村部では**低下**

## 区部

## 市町村部



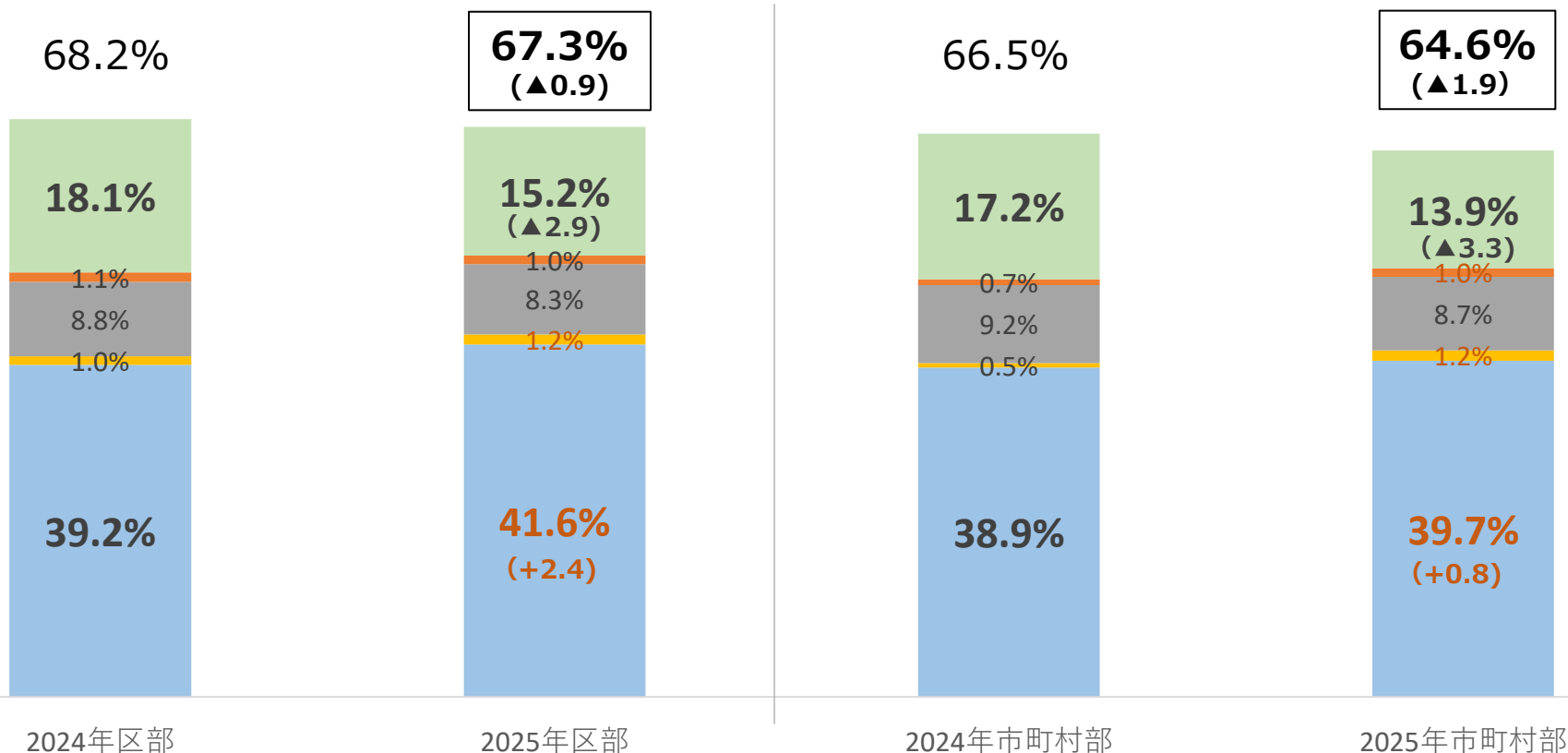
■ クレジットカード ■ デビットカード ■ 電子マネー ■ iD/QUICPay ■ QRコード

## 結果詳細④ 地域別のキャッシュレス決済比率(件数)と決済手段の内訳

- 件数ベースでは区部**67.3%**、市町村部**64.6%**がキャッシュレス決済
- 区部、市町村部ともに**前年度からキャッシュレス比率が低下**
- 決済手段は、区部、市町村部ともに**クレジットカード**が上昇し、**QRコード**での決済比率が低下

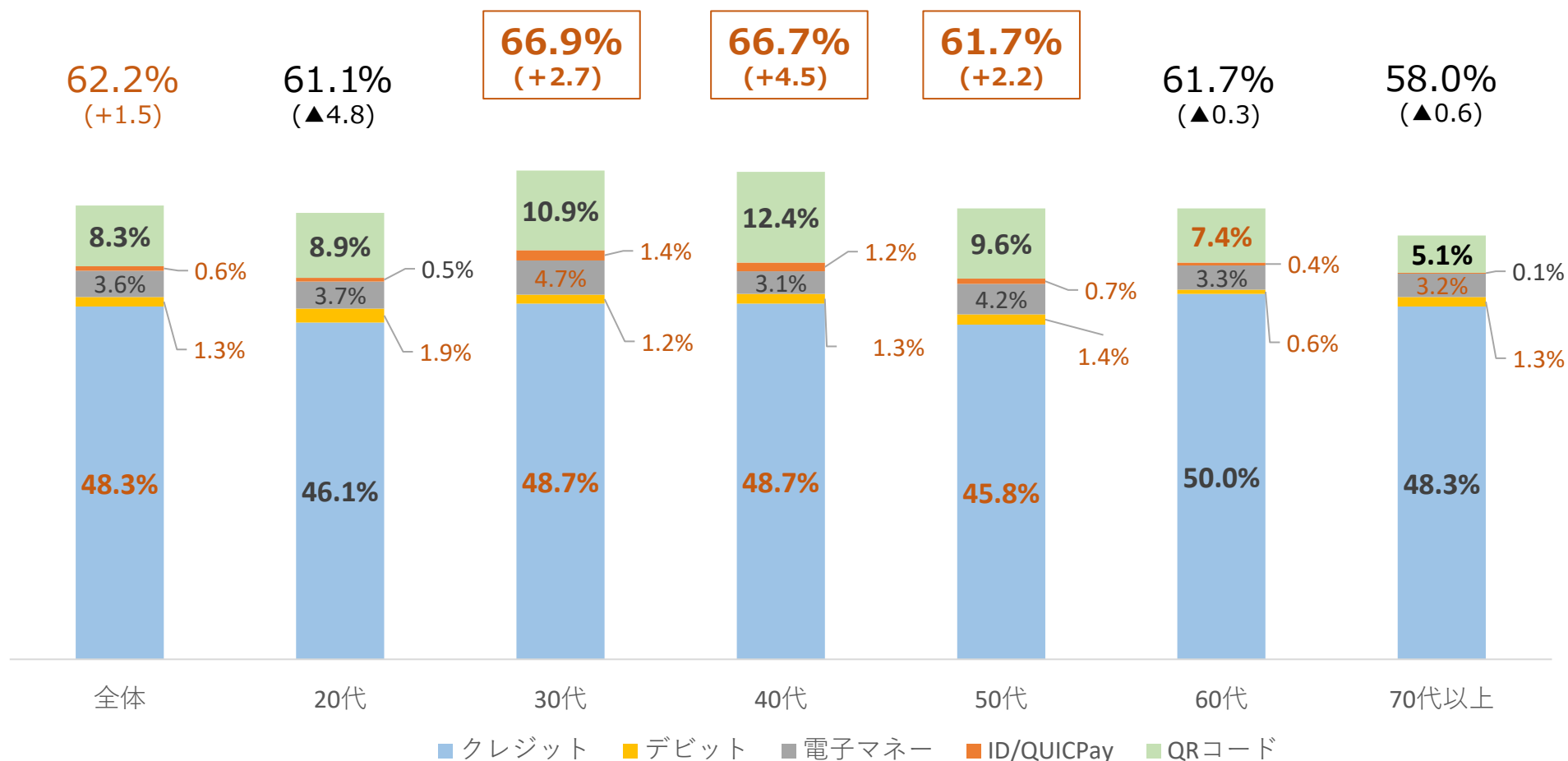
### 区部

### 市町村部



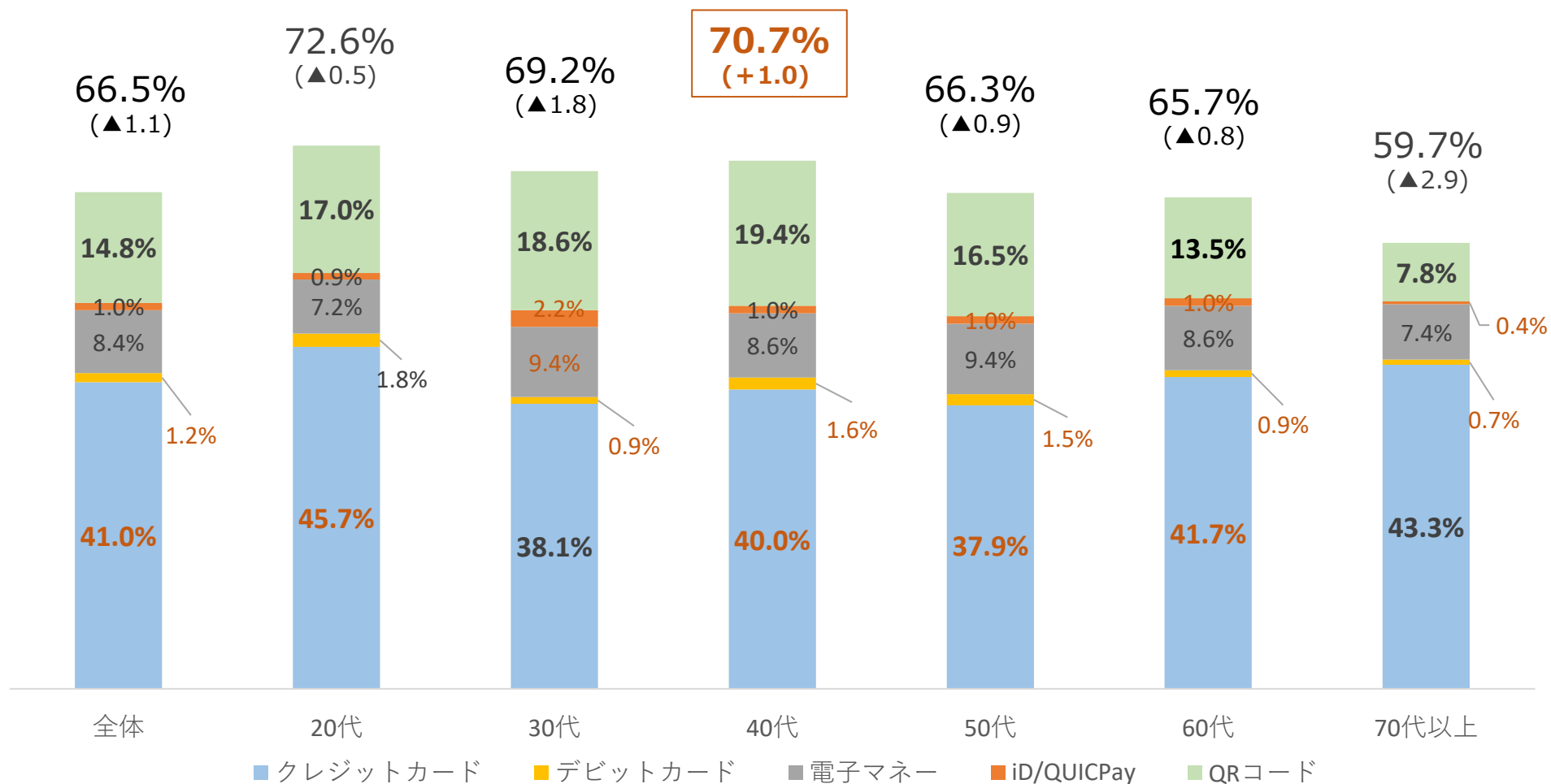
## 結果詳細⑤ 年代別のキャッシュレス決済比率(金額)と決済手段の内訳

- 金額ベースでは、**30代**のキャッシュレス決済比率が**66.9%**と最も高く、伸びは**40代**が最も大きい
- 70代以上が最も低いものの、各世代とも概ね60%程度であり、年代による大きな差は見られない
- 決済手段別では、年代を問わず**クレジットカード**がキャッシュレスを大きく牽引



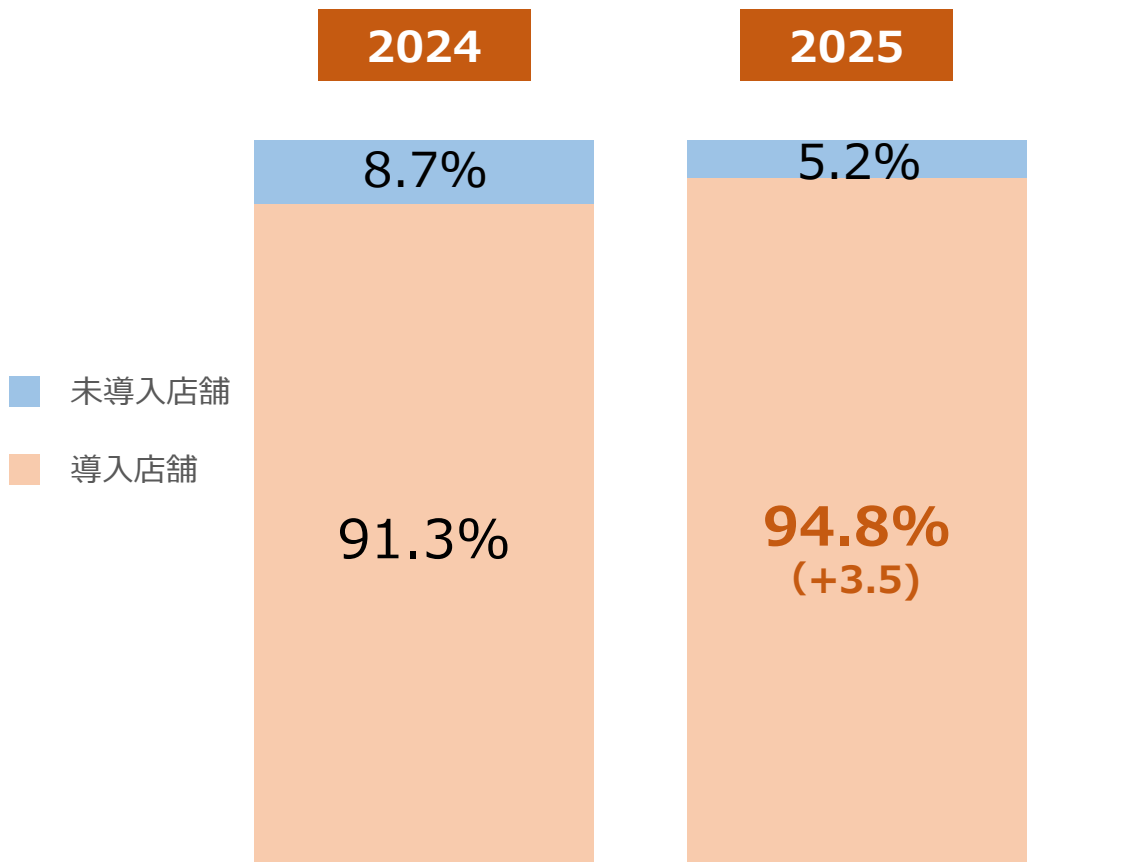
## 結果詳細⑥ 年代別のキャッシュレス決済比率(件数)と決済手段の内訳

- 件数ベースでは、**20代**のキャッシュレス決済比率が**72.6%**と最も高い
- 40代のキャッシュレス比率は微増しているが、それ以外の年代では微減
- 決済手段別では、年代を問わず**クレジットカード**、**QRコード**の順に利用率が高くなっている



## 結果詳細⑦ 店舗等でのキャッシュレス導入状況

- 店舗等におけるキャッシュレス決済が利用できる割合が**94.8%**と上昇
- 一方で、現金でしか支払えなかった場面として多くあがった回答は「**飲食店**」「**個人商店**」「**医療機関**」などが複数挙がる



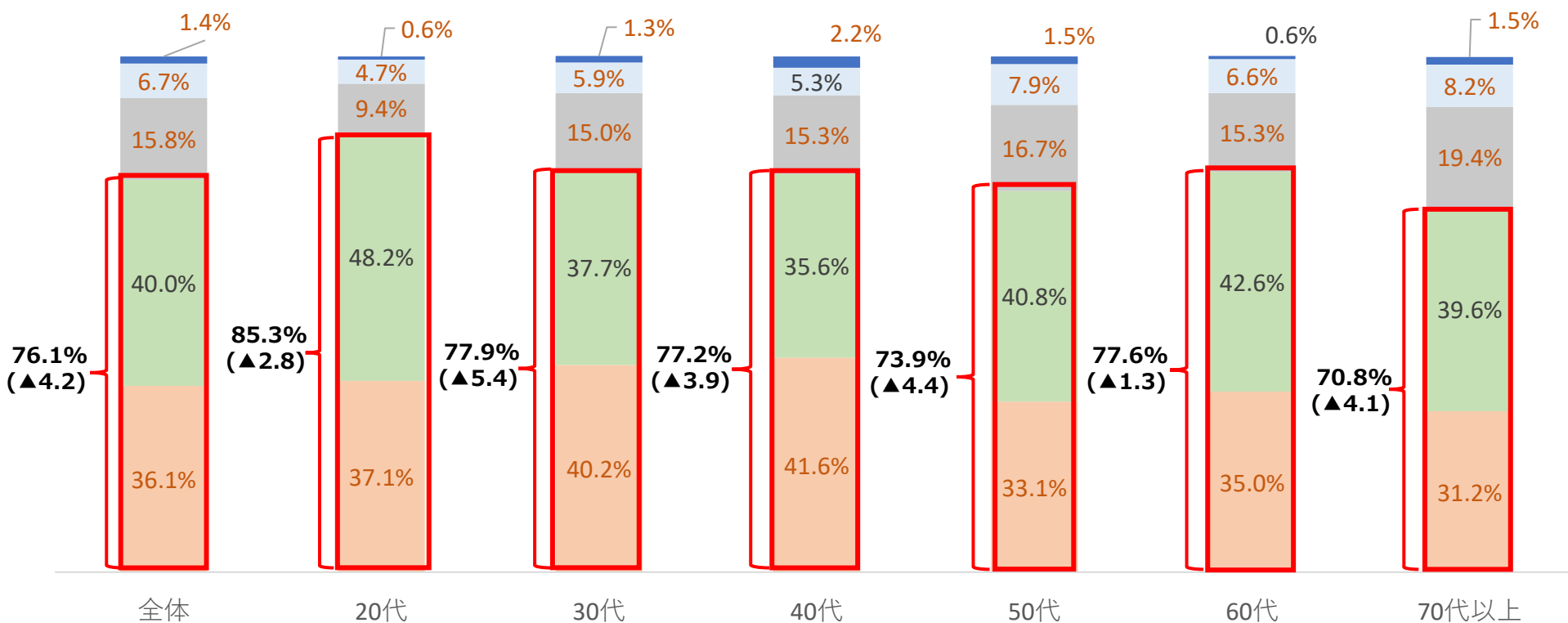
※ アンケート調査において、日常的な支払の明細ごとにキャッシュレス決済の利用可否を調査し、その結果から算出。  
上記のグラフは、回答者の居住地域別で整理しているため、各地域の店舗等のキャッシュレス導入割合には必ずしも一致しない。

現金でしか支払えなかった場面の例（10件以上を掲載）		
飲食店	イベント（祭り）	パン屋
個人商店	理髪店・美容院	金券・ギフトカード購入時
医療機関	コインパーキング・駐車場	習い事
八百屋	交通機関	税金の納入
個人経営の飲食店	観光地	銭湯・温泉
スーパーマーケット	コピー機	町会費等の会費
屋台	100円ショップ	農産物直売所
ラーメン屋	キッチンカー	寺や神社への支払い

※ アンケート調査において、過去1年以内に現金でしか支払えなかった場面があったかを自由回答で聴取。回答をカテゴリごとにフラグ立てし、10件以上回答があったものを掲載している。

# 結果詳細⑧ キャッシュレスに関する利用意向（年代別）

- キャッシュレス派（「どんな金額・場所等でもキャッシュレスで支払いたい」+「どちらかというともキャッシュレスで支払いたい」）の割合は**76.1%**で昨年度から各年代で低下
- 年代別では**20代**が最もキャッシュレス派の比率が高く、**70代以上**が最も低い



■ どんな金額・場所等でもキャッシュレスで支払いたい  
■ どちらともいえない  
■ どんな金額・場所等でも現金で支払いたい

■ どちらかというともキャッシュレスで支払いたい  
■ どちらかというとも現金で支払いたい

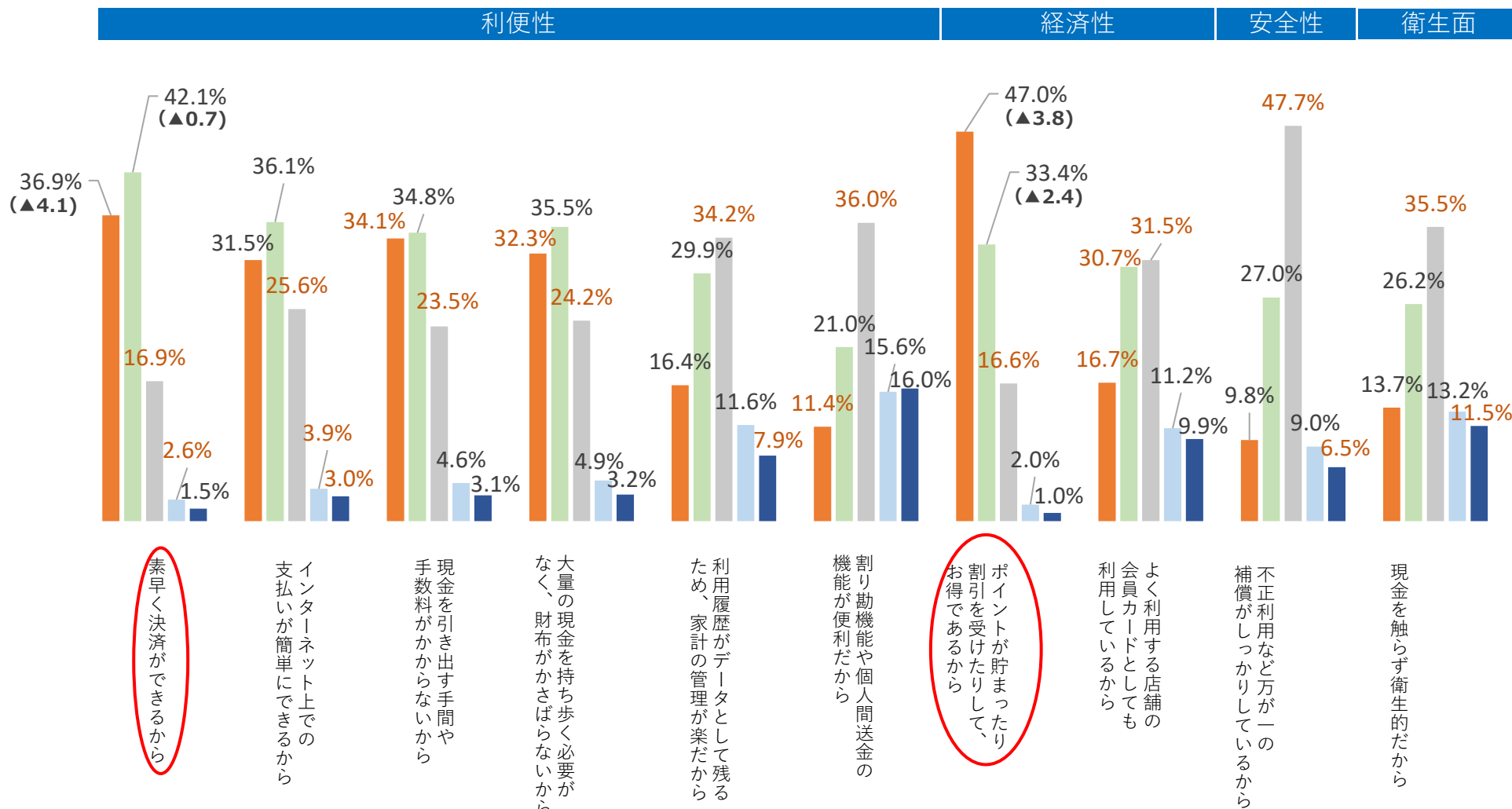
## 2. 補足（キャッシュレスに関する意識調査の結果）

---

# 補足① キャッシュレス決済を利用する理由（都内）

- キャッシュレスを利用する主な理由として、過年度と同様、「素早く決済ができる」などの**利便性の良さ**や「ポイントが貯まる」などの**経済性の高さ**が選択されている

■ かなり当てはまる   
 ■ やや当てはまる   
 ■ どちらともいえない   
 ■ あまりそう思わない   
 ■ 全くそう思わない



素早く決済ができるから

ポイントが貯まったり、割引を受けたりして、お得であるから

## 補足② キャッシュレス決済を利用する理由（海外都市比較）

- 海外3都市※において、キャッシュレス決済を利用する理由を調査。どの都市においても、決済の**利便性**やポイント還元といった**経済性**が多く挙げられ、**東京都と同じ傾向となった**

※海外都市調査：ソウル、香港、シンガポールに居住する20歳以上の個人に対して2025年11月5日～11月19日まで調査を実施。各都市456サンプル回収

ソウル(99.1%) ※括弧内は韓国のキャッシュレス決済比率		
No.1	73.5%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.2	73.3%	素早く決済ができるから
No.3	73.1%	現金を引き出す手間や手数料がかからないから

香港(83.3%) ※括弧内は中国のキャッシュレス決済比率		
No.1	83.4%	素早く決済ができるから
No.2	81.6%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.3	80.5%	大量の現金を持ち歩く必要がなく、財布がかさばらないから

シンガポール(68.4%) ※括弧内はシンガポールのキャッシュレス決済比率		
No.1	74.6%	素早く決済ができるから
No.2	67.9%	大量の現金を持ち歩く必要がなく、財布がかさばらないから
No.3	67.4%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから

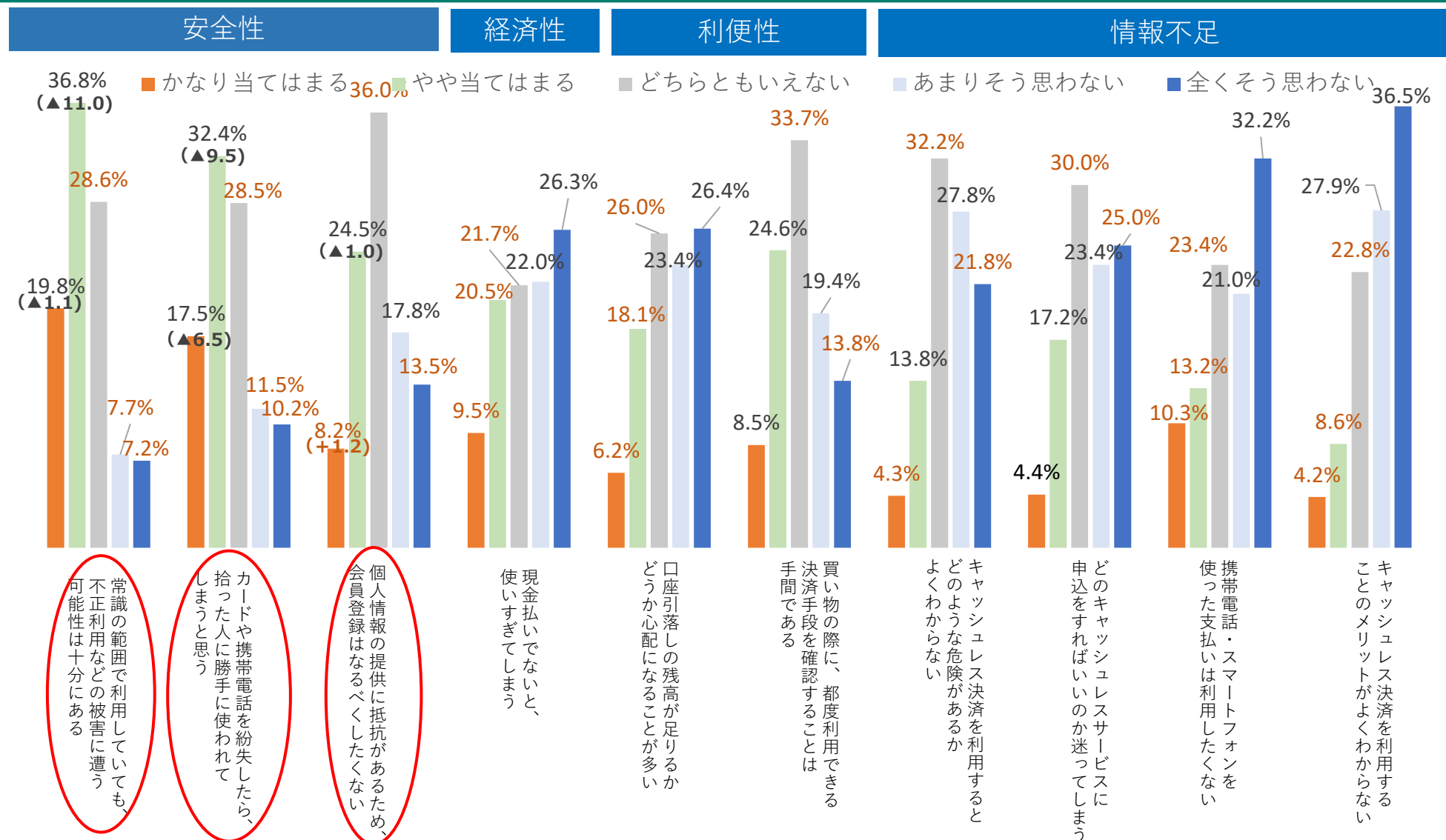
東京都(62.2%) ※括弧内は都のキャッシュレス決済比率		
No.1	80.4%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.2	79.0%	素早く決済ができるから
No.3	68.9%	現金を引き出す手間や手数料がかからないから

海外都市のキャッシュレス決済比率

出典：一般社団法人キャッシュレス推進協議会「2023年の世界主要国におけるキャッシュレス決済比率」

# 補足③ キャッシュレス決済を利用しない理由（都内）

- キャッシュレスを利用しない理由は、過年度と同様、不正利用に対する不安や個人情報を提供することに対する抵抗感が多く挙げられるが、その割合は減少傾向



## 補足④ キャッシュレス決済を利用しない理由（海外都市比較）

- 海外3都市において、キャッシュレス決済を利用しない理由についても調査
- 東京と同様に海外3都市でも、**不正利用に対する懸念**が上位に挙がった。
- 東京以外の**海外3都市では、「現金払いでないと、使いすぎてしまう」**も上位に挙がる。

### ソウル(99.1%) ※括弧内は韓国のキャッシュレス決済比率

No.1	50.2%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	47.1%	現金払いでないと、使いすぎてしまう
No.3	41.7%	個人情報の提供に抵抗があるため、 会員登録はなるべくしたくない

### 香港(83.3%) ※括弧内は中国のキャッシュレス決済比率

No.1	54.2%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	51.5%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に遭う可能性は十分にある
No.3	48.7%	現金払いでないと、使いすぎてしまう

### シンガポール(68.4%) ※括弧内はシンガポールの キャッシュレス決済比率

No.1	46.9%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	39.7%	現金払いでないと、使いすぎてしまう
No.3	36.4%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に遭う可能性は十分にある

### 東京都(62.2%) ※括弧内は都のキャッシュレス決済比率

No.1	56.5%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に遭う可能性は十分にある
No.2	49.8%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.3	33.1%	買い物の際に、都度利用できる決済手段 を確認することは手間である

海外都市のキャッシュレス決済比率

出典：一般社団法人キャッシュレス推進協議会「2023年の世界主要国におけるキャッシュレス決済比率」

## 補足⑤ 訪日時に不便だと感じた経験について(海外在住者のみ,自由回答)

- 自国と比較して、**現金払いを求められる機会が多い点**や、**小銭の管理**等が不満要因として挙がる  
※ 回答者の訪日時期については確認していない点に留意
- 都内ではキャッシュレス対応が進む一方、一部店舗では訪日外国人が普段利用するキャッシュレス手段が使えず不便との声もあり

### シンガポール

- ・ 主に現金支払いを求められた
- ・ 多額の現金を持ち歩く必要があり、レジで小銭を扱う際に手間取ってしまった
- ・ クレジットカードでの支払いを受け付けていない店舗がいくつかあった

### ソウル

- ・ 「現金のみ可能」な場所が多くて不便だった
- ・ 外食する時、現金しか使えない店が多すぎる
- ・ 商品購入後、小銭があまりにも多く出てきて不便だった
- ・ 韓国に比べて決済プロセスが複雑で、システムの改善が必要だと感じた

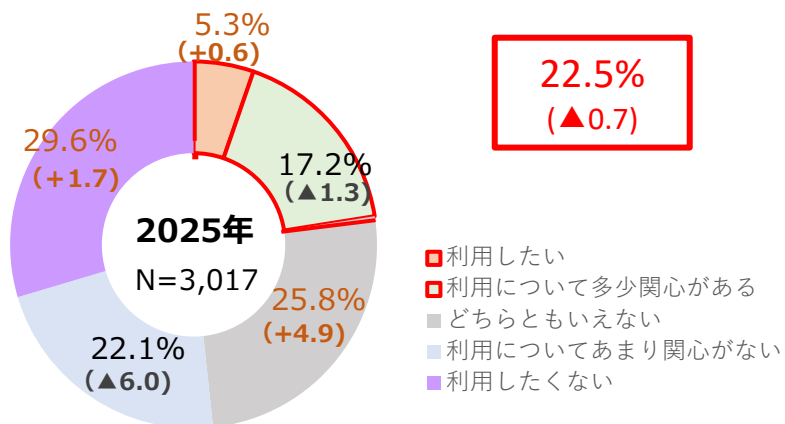
### 香港

- ・ 多くの店舗では現金払いが必要で、外出時に多額の現金を持参するのは面倒
- ・ 紙幣の種類が複雑すぎて、現金取引が多すぎる、小銭が多すぎる
- ・ 多くの場所でクレジットカードが使えない
- ・ 自国で使える電子決済が使えない

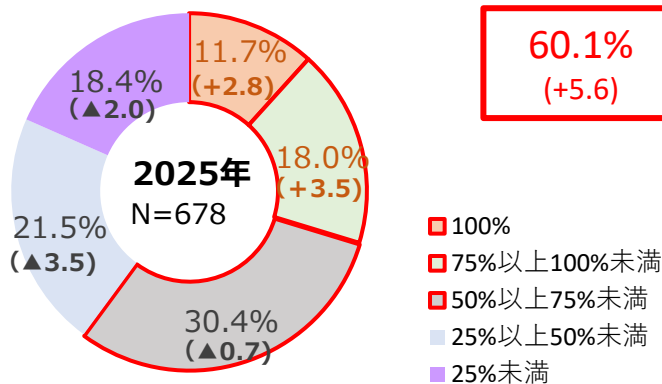
# 補足⑥ 給与のデジタル払い

- 給与のデジタル払いに関する関心度は**2割強**となり昨年度と同水準
- 関心がない・利用したくない理由として、「**現金化するのが面倒だから**」や「**給与のデジタル払い自体がよく分からないから**」が上位に挙がる。

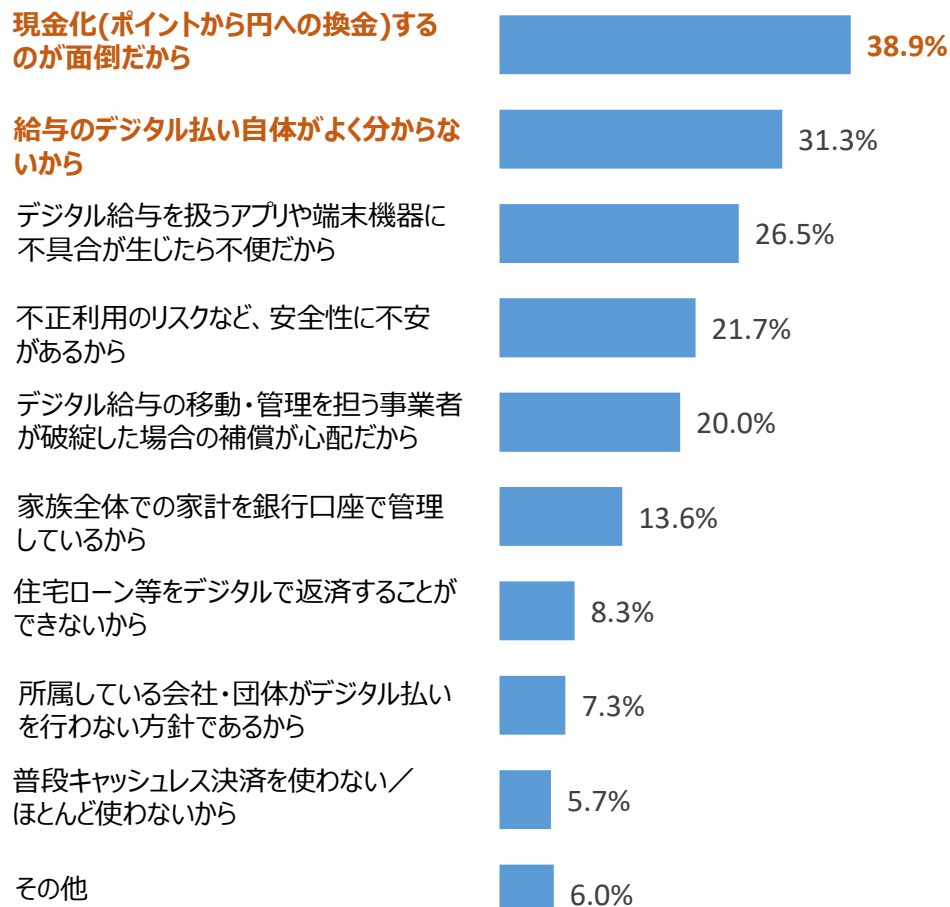
## ■ 給与のデジタル払いに関する関心



## ■ 給与のデジタル払いを利用するとしたら何%チャージしたいか (関心がある方だけ)



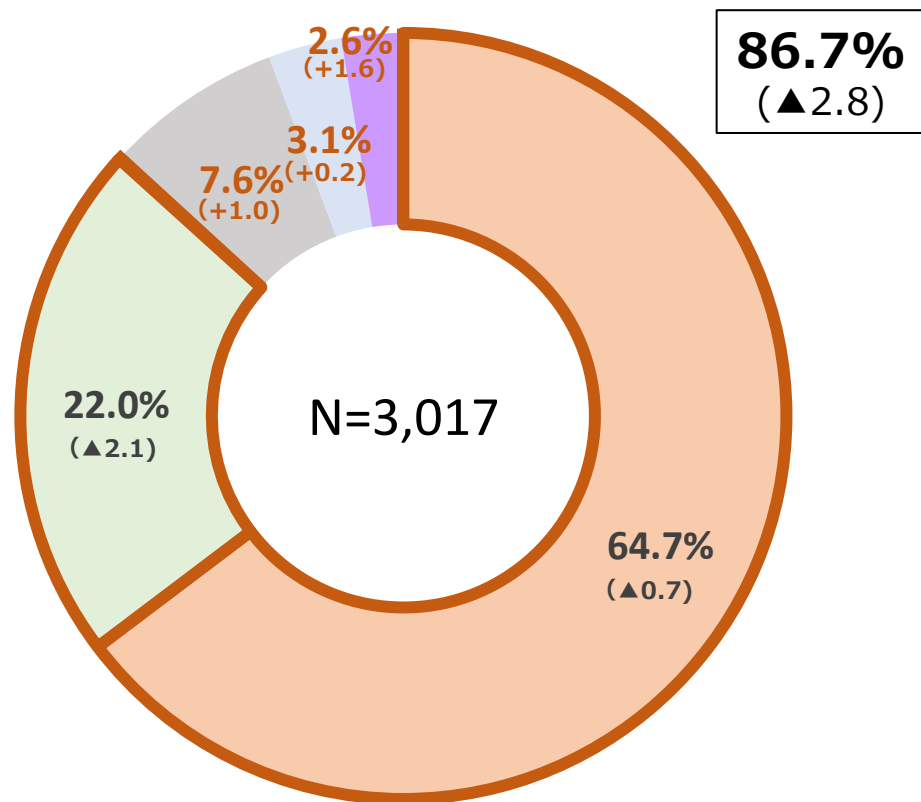
## ■ 給与のデジタル払いに関心がない・利用したくない理由 ※複数選択可



## 補足⑦ 決済後のレシートの受取状況について

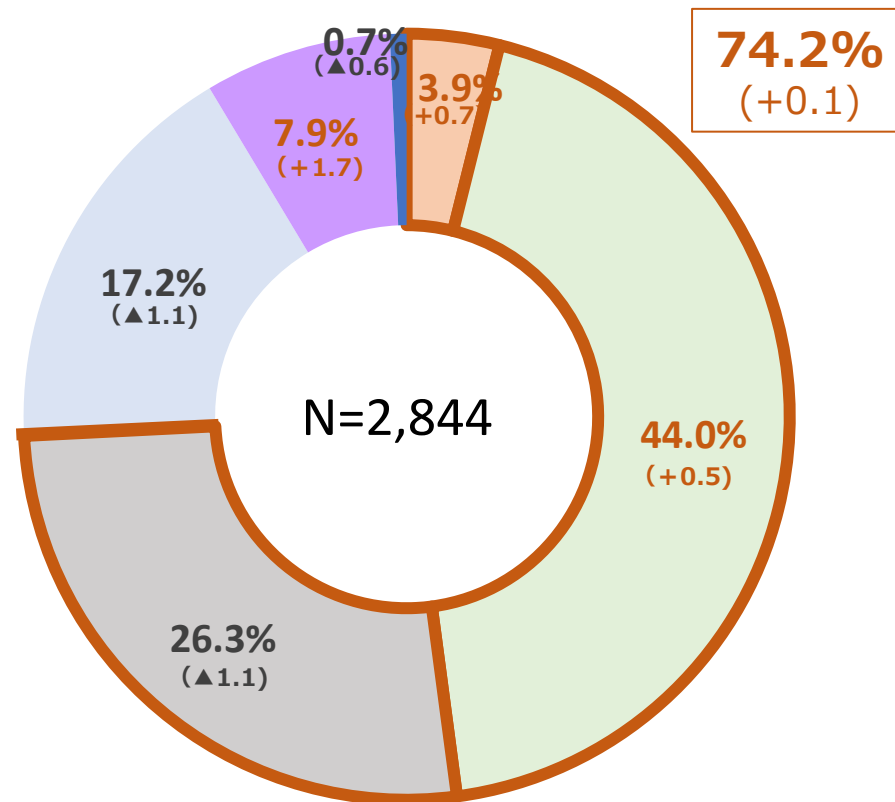
- レシートについて、「毎回」または「ほぼ受け取っている」と回答した割合は**86.7%**で昨年度から微減
- レシートを受け取る回答者のうち、**約7割**が内容を確認することなく、または内容を確認した後で処分している

● 決済後のレシートの受取状況



■ 毎回受け取っている   
 ■ ほぼ受け取っている   
 ■ 時々受け取っている  
■ ほぼ受け取っていない   
 ■ 毎回受け取っていない

● レシート受取後の行動

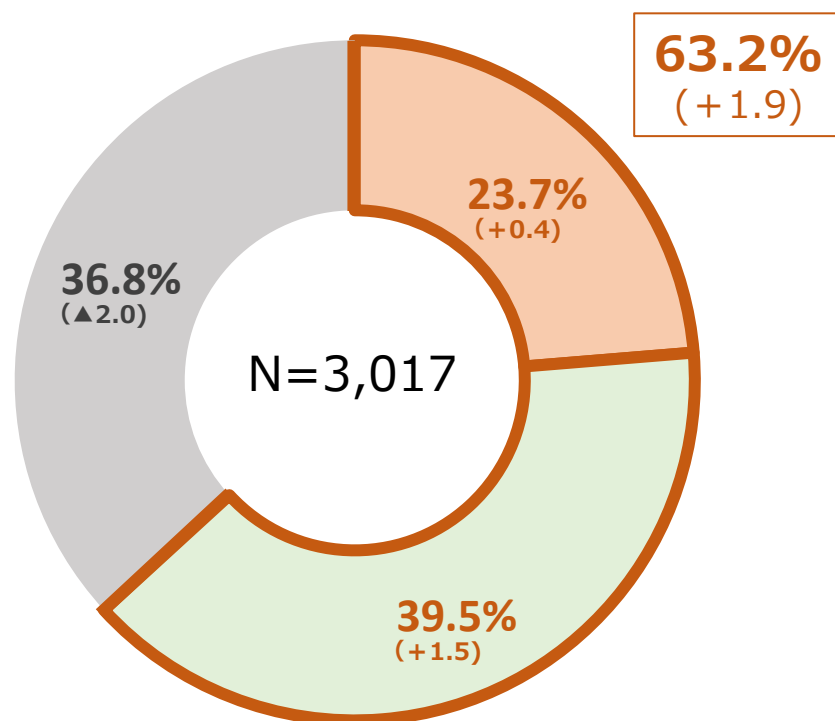


■ 内容を確認することなく、処分する   
 ■ 内容を確認した後で処分する  
■ 家計簿等に記録した後で処分する   
 ■ 返品対応等に備えて一定期間保存する  
■ とりあえず期間を決めずに保存する   
 ■ その他

## 補足⑧ 電子レシートの認知・利用意向について

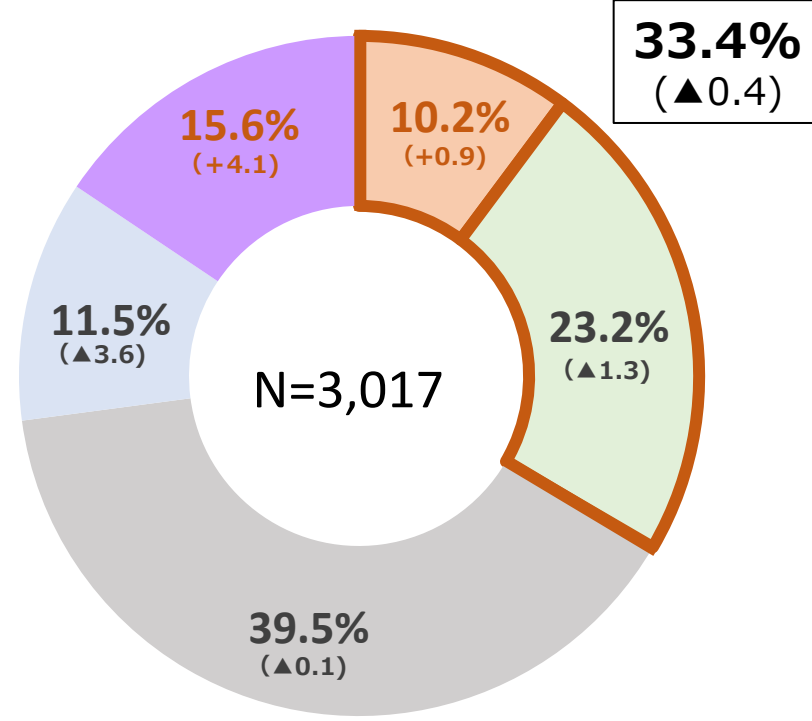
- 電子レシートの**認知度**及び**利用の経験**は昨年度の調査から**微増**
- **利用意向**がある割合は**33.4%**で微減

### ● 電子レシートの認知・使用経験



- 知っているし、使ったことがある
- 知っているが、使ったことはない
- 知らない

### ● 電子レシートの使用意向



- とても使用してみたい
- どちらかといえば使用してみたい
- どちらともいえない
- どちらかといえば使用してみたくない
- まったく使用してみたくない